

川柳アート

選者：川柳アート
八木健（月刊川柳総合誌）
「川柳マガジン」三元選者

特選



しがみつく
年金の藁
細りゆく
加賀山一興

しがみつく年金の藁細りゆく
「巻き上げるだけで払ってくれないものは、な〜んだ?」「年金」「ピンポン、正解です」「では、次の問題。外国で気前よくバラ撒くものといえは?」「お金」「ハイ、正解です」「このクイズの賞金は、年金と同じく五年先にお支払いします」
加賀山一興（宇和島）



怖いもの地震雷火事おやつ
宮井園江

怖いもの地震雷火事おやつ
少しずつ食べればいいんです。痩せるのは恋すれば簡単だけど、痩せないから恋もできないのよ。失恋とヤケ食いの繰り返し。昔は、女相撲があつたんだけどねえ。おやつは怖いけど、地震も火事も怖くないですと? 宮井 園江（松山市）



すっぴんだと誰か判らぬ我が娘
すっぴんだと
誰か判らぬ
我が娘
松田美穂

すっぴんだと誰か判らぬ我が娘
目張り濃厚塗りて自分の娘とは思えないほど魅力的だったのに、すっぴんだと昔の私にそっくりだわ。「駄目よ、すっぴんは、母さんみたいに馬の骨を掴むことになるわよ」あら、父さんは、豚を掴んでしまったって言ってたわよ」
松田美穂（松山市）



金足りず自由の女神灯が消える
金足りず自由の女神灯が消える
金子 豊

金足りず自由の女神灯が消える
自由の国のシンボルが今じゃ不自由の女神だわ。米国は不思議な国。外国へお節介すののに、今お金がないのから。いろいろストップして、ねじれ国会で、オバマいびり、でいじけオバマ。なんとなく味方したくなるわね。頑張れオバマ。
金子 豊（東温市）



餅撒きに和氣講議の小籠り合ひ
餅撒きに
和氣講議の
小籠り合ひ
西野周次

餅撒きに和氣講議の小籠り合ひ
人間の本性を丸出しにして、良家の女たちが「この野郎」とか「私の餅だ」とか言つての奪い合い。しかし、闘争心を養うのも大切なこと。お餅を食べると太るから我慢しなきゃ、ということまで忍耐も養われる。餅撒きほど大切な行事はない。
西野 周次（松山市）



柏手と柏手を間違え
柏手と
柏手を間違え
拜んでる
武井基次

柏手と柏手を間違え
よく見ると、柏手と柏手は字が違うんだ。拜むのに柏手したのでは、ご利益はありません。文字を知らないとか妙なことになるんだね。恋文に「恋しい」と書くべきを「愛しい」と書いて失敗したやつがいる。
武井 基次（松前町）



相手するのにも疲れる話好き
相手するのにも疲れる話好き
山本富子

相手するのにも疲れる話好き
困りましたねえ。空気が読めないお方は、とにかく口をさめないんだから困ります。解決するには、耳栓を買おうとか、電話がかかってきたふりをするとか、何か方法があるはず。なぬ、相手の口を洗濯パサミでとめるか、ガムテープで塞ぐ。それはいい考えだね。
山本 富子（宇和島市）



不器用を器用に演じモデル人
不器用を器用に演じモデル人
外面佳子

不器用を器用に演じモデル人
こういうやついるんだよね。口べたとか言つて人に喋らせる。字が下手と言つて誰かに書かせる。運転が下手と称して、アッシー君にする。一緒に食事しても、レジャーが苦手だと言う。それなら財布出しなよ。不器用で出すのが下手だと? 外面 佳子（今治市）

ひろば DEC.

小さなこだわり? 抵抗?

ペンギン
（大洲市・39歳）
小学校の運動会でのこと。うちのおばあちゃんと友達のおじいちゃんは、子どもたちが保育園の頃から、お年寄り対象の競技・宝拾いに出場しない。孫に「出てよ」と言われても、「あなたたちのおじいちゃん、おばあちゃんではあるけれど、私は宝拾いに出るほどのおじいちゃん、おばあちゃんではない!」というのが理由。「プレゼントもらえるよ」と言われても拒否。その上、流れる曲が水戸黄門のテーマ曲だったため、「本当の年寄りみたいじゃないの!」とご立腹。運動会では毎年このコント(?)をしているが、2人ともいつもありがたい。これからは元気でいてね。

茜色の空

私が大将
（西条市・60歳）

早朝の散歩を日課にしている。家ごとの花壇を楽しみ、虫の集きに足を止め、雲間を茜色に染めて昇るうとする太陽に頭を垂れずにはられない。それから神社に詣でる。先客の、さい銭箱に入らなかつたらしい10円玉や100円玉を入れ直しながら、素朴な「人の営み」を慕わしく思う。定年退職

した今、価値観の揺らぎとともに、大上段に構えることなく「自然な生活」の豊かさを味わえるようになりつつある。
親の背中を見て育つ?
ビッグママ
（今治市・38歳）

息子が幼稚園の頃、大きくなったら「ゴセイジャーになりたい」と言っていた。小学1年生になると「サッカー選手になりたい」と七夕の短冊に書いてあった。2年生になった息子は先日、学校のスピーチの練習で「お父さんのような学校の先生になりたい」なんて言っている。成長したわが子に涙が出そうになった。

お便り募集

○川柳
テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には選者・八木健さんが切り絵やCGを使った「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントします。
○ひろば
エッセーなどを募集しています。テーマは自由、200字以内。誌面の都合上、原稿を割愛、修正する場合があります。ご了承ください。採用の方には、1,000円分の図書カードをお送りします。川柳とひろばのあて先は下記の通りです。住所、氏名、電話番号、性別、年齢をお書きください（ペンネームも可。必ず氏名を記入してください）。
※ご応募いただいた個人情報は、適切に取り扱います。
〒790-8511 松山市大手町1丁目12-1
アクリート編集室 通信係
Eメール accrete@enp-sc.jp